

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成24年10月18日 (2012.10.18)

【公開番号】特開2012-75293(P2012-75293A)

【公開日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-015

【出願番号】特願2010-220166(P2010-220166)

【国際特許分類】

H 0 2 P 6/12 (2006.01)

H 0 2 P 21/00 (2006.01)

H 0 2 P 27/04 (2006.01)

【F I】

H 0 2 P 6/02 3 7 1 D

H 0 2 P 5/408 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月3日 (2012.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モータに出力される出力電流の電流値を検知して目標トルクに応じた電流値に制御するモータ制御装置であって、

前記モータの運転中に前記モータに出力される出力電流の電流値と出力電圧の電圧値に基づいてモータ運転状態値を演算し、該演算されたモータ運転状態値に基づいて前記モータに異常が発生しているか否かを判定するモータ異常判定部を有することを特徴とするモータ制御装置。

【請求項 2】

前記モータ異常判定部は、前記モータの運転中に前記出力電流から検出した有効電流成分と前記出力電圧の電圧値の比から前記モータ運転状態値を演算することを特徴とする請求項 1 に記載のモータ制御装置。

【請求項 3】

前記モータ異常判定部は、前記モータ運転状態値が予め設定された判定値を越えた場合に、前記モータに異常が発生していると判定することを特徴とする請求項 1 に記載のモータ制御装置。

【請求項 4】

前記モータ異常判定部は、前記モータ運転状態値の電気角 1 周期内における変動幅が、予め設定された判定幅以上の場合に、前記モータに異常が発生していると判定することを特徴とする請求項 1 に記載のモータ制御装置。

【請求項 5】

前記モータ異常判定部は、電気角の繰返し周期の都度、予め設定された数周期連続して前記モータ運転状態値が予め設定された判定値を越えた場合に、前記モータに異常が発生していると判定することを特徴とする請求項 1 に記載のモータ制御装置。

【請求項 6】

前記モータ異常判定部は、前記モータの異常として、前記モータの巻線に層間短絡が発生しているか、もしくは、モータの位置を検出する位置センサ部に異常が発生していると

判断することを特徴とする請求項 1 に記載のモータ制御装置。